

ゆるめクリーニングパートナー 第2号 ゆるめ ニュースレター



発行：久留米市環境政策推進課

発行日：平成16年9月1日

～ はじめに ～

まだまだ暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。創刊号でお知らせしましたとおり、みなさんの活動の現場におじゃまして、一緒に活動をさせていただきながらいろんなお話を聞かせていただいています。その中で、色々なご意見、要望をお寄せいただいたり、参考になるような工夫を教えてくださいました。

今号から、取材をさせていただいたみなさんの活動内容を順次ご紹介していこうと思います。

☆☆☆ みなさんの活動を拝見！ ☆☆☆

【久留米天神振興会】

久留米天神振興会さんは、久留米岩田屋を含む11の企業、800名で構成されている団体で、久留米の玄関口の一つである西鉄久留米駅東口を、毎月1回、散乱ごみを中心に清掃活動を行ってあります。

活動自体は、かなり以前から行ってあったとのことですが、平成14年7月からは、クリーニングパートナーとして活動されています。

人通りの多い地区でもあるため、たばこの吸い殻、空き缶や空き瓶のポイ捨てが多く、開店前の約30分の活動で、約3袋のごみが出ました。

メンバーのうち7名の方が、市から違反広告物撤去の許可を受けており、広告物や貼紙の撤去を行う独自の取り組みも行っています。





道路に違法に取り付けてある看板や貼紙をみなさんが撤去できるように、久留米市では「路上違反広告物追放登録員制度」を制定しております。登録には、講習を受けていただく等の一定の条件があります。詳しい内容については、市建設部路政課(30-9076)にお問合せください。

【倫理研究所津福実践部】

倫理研究所津福実践部さんは、月に1回、午前5時から津福公園を中心に活動されています。

公園の東側に設置しているトイレ掃除や、ドーム周辺の散乱ごみの収集を行ってあります。

公園内では、朝の散歩を楽しむ方が多くいらっしゃいますので、利用される方が気持ちよく利用できるようにとのみなさんの思いが活動に表れていました。

日頃の活動の中で、シンナーを吸引した後のビニール袋があったり、公園内の外灯が点灯していないものがあったりとの情報をいただきました。これらについては担当部局のほうに情報を伝え、対応するようにしました。

また、公園内を散歩される方の中に、ご自分でごみ袋を持参して、散歩がてらに散乱ごみを拾ってある方もおられるので、袋を差し上げているとのことでした。

まだ暗いうちから活動されています。



みなさんの活動の区域にも、クリーンパートナー以外でごみ拾いをされてある方がいらっしゃいませんか？是非クリーンパートナーへの登録をご紹介します。ご連絡をいただければ、事務局からご説明させていただきます。また、不定期的に活動をされてある方については、ボランティアごみ袋を各校区公民館や環境部業務課に用意しておりますので、そちらもご利用ください。

【コスモスグループ】

コスモスグループのみなさんは、地元の方のために何か奉仕活動ができないかということで、クリーンパートナーとして活動をされているグループで、毎月1回、梅満町の大隈公園の清掃活動を行っています。



同公園は、桜やプラタナスなどの落葉樹が多く植樹されているため、秋口になると30袋以上の落ち葉を収集されるとのことです。

また、活動当初はかなりの量の散乱ごみが見られたとのことでしたが、みなさんの活動のおかげで、ごみを捨てる方も減ったせいか、最近はかなり少なくなってきたそうです。

取材当日は午前8時からとはいえ、暑いさなかを熱心に活動されてありました。



みなさんも活動される際には、ごみ袋を持って収集してありますよね。コスモスグループのみなさんは、針金で作った輪をごみ袋に取り付けて、収集したごみが入れやすいよう工夫をされてます。確かに風の強い日などはごみが入れづらいときがあります。針金ハンガーなどで代用すれば簡単に作れるのではないかと思います。参考にされてはいかがでしょうか。

今回ご紹介させていただいたほかにも、職場の周りだけでなく、周辺の道路や公園を清掃していただいている久留米試験場前郵便局、南町郵便局のみなさん、早朝にもかかわらず、市内各地の公園で活動されてある倫理研究所久留米実践部、国分実践部、上津支舎のみなさん、団地周辺の道路や公園で活動されてある菜の花グループのみなさん、20人程度の人数にもかかわらず、校区全域の散乱ごみ収集をいただいているクリーンクラブのみなさん、他にも多数のグループや個人の方の取材をさせていただきました。

どこのグループでも感じたことですが、いやな顔一つされず、笑顔で、率先して活動をされている姿がとても印象的でした。

今回は紙面の都合でご紹介できなかったグループもありますが、今後随時みなさんの活動状況をご紹介していきたいと思います。

また、今後も皆さんの活動の場にどんどんお邪魔したいと思います。その際はいろんなご意見やご要望をお聞かせください。よろしくをお願いします。



》》》 事務局からのお知らせ 《《《

くるめクリーンパートナー制度が始まって早2年が経過しました。登録されて

いる人数も、ついに5,000人を超えました。これほど早いペースで活動が広がっている例は、全国でも数少ないと思います。これも、日頃から活動されているみなさんのおかげで、「まちをきれいにしよう」という意識が市民のみなさんの間にどんどん広がっているからだと思います。これからも多くの方にこの活動に加わっていただき、美しいまちづくりを進めていきたいと思しますので、みなさんも職場やご近所などでぜひご紹介ください。

また、活動をされる時間帯として、早朝や夕方が多いようですが、特に道路で活動される場合には、車に気をつけていただきたいと思います。朝夕は出勤や帰宅で車の交通量も非常に多いです。みなさんが気をつけていても運転手が気がつかないこともあります。事故に遭われるようなことがあれば大変です。特に道路の中央分離帯や路肩などは危険ですので、出ないようにお願いします。くれぐれも安全に留意して活動していただきますようお願いいたします。

事務局では、車から判別がしやすいように、道路で活動される方については黄色のベストを用意しております。必要な方があれば事務局までご連絡ください。また、万が一事故や怪我に遭われたときは、病院などに行っていただくことはもちろんですが、市でボランティア保険に加入しておりますので、ご連絡ください。

このニュースレターは、くるめクリーンパートナー事業や、環境美化活動に参加されているみなさんの情報交換や交流の場などになることを目指しています。

今後のニュースレターでは、みなさんの活動状況や活動に対する思いなどを紹介していきたいと思います。

ご意見、ご要望、情報などをお寄せいただくことで、よりよい紙面づくりをしていきたいと思しますのでご協力をお願いします。



発行元：久留米市環境部環境政策推進課

〒830-8520 久留米市城南町15-3

Tel: 0942-30-9146

Fax: 0942-30-9715

e-mail: kansei@city.kurume.fukuoka.jp